

# 第 60 回手をつなぐ育成会東北ブロック大会・本人大会 第 54 回青森県手をつなぐ育成会大会(併催)

## 開 催 要 綱

### 1. 趣 旨

近年の福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、障がいのある人に対する合理的配慮や意思決定支援の道が大きく拓かれました。

育成会活動の原点は「わが子のしあわせ」にあり、その思いは育成会活動が始まって 60 有余年の間、変化することなく、受け継がれてきています。

障がい者の権利が守られ、尊厳ある暮らしを実現するため、さらに積極的な活動が求められています。障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で、お互いの人格と個性を尊重しあい、共に支えあう社会を目指し、東北六県の会員の声を集結するため、本大会を開催いたします。

### 2. 主 題

「未来に向けて 一人ひとりのかけがえのない人生を尊重しあえる仲間をふやそう」

### 3. 主 催

手をつなぐ育成会東北ブロック協議会  
一般社団法人 青森県手をつなぐ育成会

### 4. 後 援

全国手をつなぐ育成会連合会、青森県、青森市、青森県教育委員会、青森市教育委員会、青森県社会福祉協議会、青森市社会福祉協議会、青森県共同募金会、青森県知的障害者福祉協会、青森県特別支援教育研究会、青森県自閉症協会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、朝日新聞青森総局、毎日新聞青森支局、読売新聞青森支局、NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送

### 5. 開催期日

令和 3 年 9 月 18 日(土) (育成会全体会、本人全体会、本人分科会のみ)

### 6. 会 場

リンクステーションホール青森 5 階 大会議室 他(青森市堤町 1 丁目 4-1 TEL 017-773-7300)

### 7. 参加者

東北六県の手をつなぐ育成会(親の会)会員並びに知的障害者本人、障害者施設関係者、特別支援学校(学級)関係職員、関係行政機関・団体役職員、知的障害者の支援者、その他一般市民

### 8. 参加方法

コロナウィルス感染拡大防止のため、会場に参集するのは、青森県内の参加者のみとします。会場に参集する他、大会内容を収録したDVD、YouTube 配信をご利用のうえ、大会にご参加いただけます。詳細は、「参加のご案内」をご確認ください。

### 9. 新型コロナウイルス感染症対策について

本大会は、「新型コロナウイルス感染症に関する青森県対処方針」及び国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を受けて作成された業種別ガイドラインに基づく感染拡大防止対策を行った上で実施します。

## 10. 大会プログラム

大会当日に実施する内容、及び DVD、YouTube に収録される内容です。

<b>育成会全体会</b>
式典 <ul style="list-style-type: none"><li>■ 手をつなぐ母の歌斉唱</li><li>■ 開式のことば</li><li>■ 物故者慰霊の黙禱</li><li>■ 主催者あいさつ 七宮 弘 手をつなぐ育成会東北ブロック協議会 会長 阿部 弘子 青森県手をつなぐ育成会 理事長</li><li>■ 表彰 手をつなぐ育成会東北ブロック大会長表彰・感謝 青森県知事表彰 青森県手をつなぐ育成会大会長表彰・感謝</li><li>■ 受賞者代表謝辞</li><li>■ 来賓祝辞</li><li>■ 来賓紹介・祝電披露</li><li>■ 大会決議・本人大会決議</li><li>■ 次期開催県あいさつ 宮城県手をつなぐ育成会</li><li>■ 閉式のことば</li></ul>
中央情勢報告 又村あおい氏(全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事)
保険説明 ぜんち共済株式会社 株式会社ジェイアイシー
鼎談「福祉ねぶたの実践から共生社会を考える」(仮題) 成田 浩司 氏 (青森市社会福祉協議会 事務局長) 山内 誠 氏 (ヤマト運輸ねぶた実行委員会実行委員長) 田村千代子 氏 (県立青森第二養護学校教諭)

<small>ほんにんぜんたいかい</small> <b>本人全体会</b>
ワークショップ「 <small>つがる むかしっこ</small> 津軽の昔っ子」 <small>はせがわくみ こし むかしっこ</small> 長谷川久美子氏 (わの昔っこ) <small>つがるべん かたりべ おはなし きいたり ほうげん とおして</small> ・津軽弁の語り部によるお話を聞いたり、方言クイズを通して、 <small>たのしみながらちいき とくしょく まなび</small> 楽しみながら地域の特色を学びます。

育成会分科会				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題提供者の発表と助言者の基調報告を収録した DVD と YouTube 配信でご覧いただけます。</li> <li>・ 全ての分科会を視聴いただくことができます。</li> <li>・ 視聴後に、参加者から質問を受け付け、報告書等に回答を掲載いたします。</li> </ul>				
分科会	テーマ/討議内容	司会者	話題提供者	助言者
第1分科会	「高齢化と家族支援」 ✓ 親の高齢化・本人の高齢化に伴う課題 ✓ 医療的ケアの必要性 ✓ 親亡き後のお金の問題 ✓ 家族・きょうだいへの支援を考える ✓ 孤立化を防ぐために様々な機関・組織とつながろう	(青森県)	(秋田県) (青森県)	又村あおい氏 (全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事)
第2分科会	「育成会活動」 ✓ 会員の減少、高齢化に悩む育成会の活性化について ✓ 地域らしさを生かした先駆的事例からヒントを探る	(青森県)	(岩手県) (山形県)	久保厚子氏 (全国手をつなぐ育成会連合会 会長)
第3分科会	「暮らしと福祉サービス」 ✓ 多様な暮らし方を支える仕組み ✓ 本人が望む暮らしをするための福祉サービス ✓ 地域格差を解消するために ✓ 今使いたい福祉サービスが足りない!	(青森県)	(宮城県) (福島県)	(青森県)

ほんにんぶんかかい 本人分科会			
ぶんかかい 分科会	テーマ	しかいしゃ 司会者	こうし 講師
ほん にん ぶん か かい 本人分科会	第1部 <small>おんがくりょうほう</small> 音楽療法レクリエーション	あべ <small>しげゆき</small> 繁幸 ( <small>あおもりかりちよう</small> レインボー青森会長)	なかむらともこ <small>おんがくりょうほうけんきゅうしよ</small> 中村智子音楽療法研究所
	第2部 <small>しかみせんたいけんかい</small> スコップ三味線体験会		よしざき サフロ吉崎 氏

## 11. 大会日程

会場に参集される参加者(青森県内の方のみ)は、ご確認ください。

9月18日(土)

12:00～13:00 受付

育成会大会		ほんにんたいかい 本人大会	
<ul style="list-style-type: none"> <li>一部、事前収録した映像をご覧ください。</li> <li>DVD、YouTube に収録するため、大会の様子を撮影します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ZOOM でも参加することができます。</li> <li>DVD、YouTube に収録するため、大会の様子を撮影します。</li> </ul>	
<b>育成会全体会</b>		<b>13:00～14:00 レインボー青森 トライアル企画</b> 東北ブロック大会とは別に開催します。別紙をご覧ください。※DVD、YouTube には収録しません。	
13:00～14:00	式典	ほんにんぜんたいかい <b>本人全体会</b>	
14:00～14:20	休憩	14:15～15:15	ワークショップ つがる むかしっこ 「津軽の昔っ子」
14:20～14:35	保険説明①	ほんにんぶんかikai <b>本人分科会</b>	
14:35～15:05	中央情勢報告	15:30～17:00	だい ぶ 第1部： おんがくりょうほう 音楽療法レクリエーション だい ぶ 第2部： じゃみせんたいけんかい スコープ三味線体験会
15:05～15:20	保険説明②		
15:20～15:30	休憩		
15:30～17:00	講演(鼎談)		

## テーマ「『ふくしねぶた』の実践から共生社会を考える」(仮題)

毎年、8月2日～7日まで青森市で開催される「青森ねぶた祭」は、延べ200万人もの観光客が国内外から来場する、東北を代表する夏祭りです。期間中を通して大型ねぶた22台、こどもねぶた11台などが、街を練り歩きます。一つの団体は、大型ねぶた1台につき、小ぶりの前ねぶた、跳人集団、囃子方などで構成されるのが基本です。

例年8月4日は、ヤマト運輸ねぶた実行委員会が運行団体となる大型ねぶたの一団に、障がいのある方たちも跳人として参加できる「ふくしねぶた」が加わります。ねぶた祭りは基本的に、跳人は正装していれば、どのねぶた団体にも自由に参加できますが、「ふくしねぶた」は車いすや付添・見守りの必要な障がいのある方たちが、より安心して参加しやすいように、ボランティアが寄り添い、安全に気を配りつつ、一緒に祭りを楽しまします。

衣装を身に着け跳人になった本人たちは、跳人集団を盛り上げるヤマト運輸スタッフの「ラッセラー!ラッセラー!」の掛け声に、「ラッセ、ラッセ、ラッセラー!」と大きな声を張り上げ、元気いっぱいに応えます。基本のステップを踏み、自分のペースでリズムカルに跳ねながら、沿道の観客たちに誇らしげな表情を振りまき、約3kmの運行コースを一周していくのです。

本大会の鼎談では、「ふくしねぶた」に長年携わってこられた3名の方々にそれぞれの立場から、「ふくしねぶたの歴史」、各団体の関わり方、参加する本人たちの表情など、リアルな声を交えつつ、「ふくしねぶた」を通して考える共生社会の実現について対談形式でお話しいたします。

鼎談者

成田浩司 氏

(青森市社会福祉協議会 事務局長)

山内 誠 氏

(ヤマト運輸ねぶた実行委員会 実行委員長)

田村千代子 氏

(青森県立青森第二養護学校 教諭)・・・ファシリテーター

